

2020年8月17日

各位

不動産投資信託証券発行者名
東京都千代田区丸の内一丁目11番1号
ラサールロジポート投資法人
代表者名 執行役員 藤原寿光
(コード番号: 3466)

資産運用会社名
ラサール REIT アドバイザーズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤原寿光
問合せ先 取締役財務管理本部長 石田大輔
(TEL. 03-6367-5600)

新投資口発行及び投資口売出しに関するお知らせ

ラサールロジポート投資法人(以下「本投資法人」といいます。)は、2020年8月17日開催の本投資法人役員会において、新投資口発行及び投資口売出しに関し決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 公募による新投資口発行

(1) 募集投資口数 261,904口

(2) 払込金額 未定

(発行価額) 日本証券業協会の定める有価証券の引受け等に関する規則第25条に規定される方式により、2020年8月25日(火)から2020年8月31日(月)までの間のいずれかの日(以下「発行価格等決定日」という。)に開催する本投資法人役員会において決定する。

(3) 払込金額 未定

(発行価額)の総額

(4) 発行価格 未定

(募集価格)

発行価格(募集価格)は、日本証券業協会の定める有価証券の引受け等に関する規則第25条に規定される方式により、発行価格等決定日が2020年8月25日(火)から2020年8月27日(木)までの間のいずれかの日の場合には、発行価格等決定日の株式会社東京証券取引所における本投資法人の投資口(以下「本投資口」という。)の普通取引の終値(当日に終値のない場合には、その日に先立つ直近日の終値)から2020年8月期に係る1口当たりの予想分配金(予想利益超過分配金を含まない)2,586円及び予想利益超過分配金206円を控除した金額に0.90~1.00を乗じた価格(1円未満端数切捨て)を仮条件とし、発行価格等決定日が2020年8月28日(金)又は2020年8月31日(月)の場合には、発行価格等決定日の株式会社東京証券取引所における本投資口の普通取引の終値(当日に終値のない場合には、その日に先立つ直近日の終値から

ご注意: 本報道発表文は、本投資法人の新投資口発行及び投資口売出しに関して一般に公表するための文書であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず本投資法人が作成する新投資口発行及び投資口売出届出目論見書並びにその訂正事項分(作成された場合)をご覧いただいたうえで、投資家ご自身の責任と判断でなさるようお願いいたします。

また、本報道発表文は、米国における証券の募集を構成するものではありません。1933年米国証券法に基づいて証券の登録を行うか又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の募集又は販売を行うことは出来ません。米国において証券の公募が行われる場合には、1933年米国証券法に基づいて作成される英文のプロスペクタスが用いられます。プロスペクタスは、当該証券の発行法人又は売出人より入手することができますが、これには発行法人及びその経営陣に関する詳細な情報並びにその財務諸表が記載されます。なお、本件においては米国における証券の公募は行われません。

上記1口当たりの予想分配金及び予想利益超過分配金を控除した金額。但し、発行価格等決定日が2020年8月31日(月)の場合において、当日に終値がなく、かつ2020年8月28日(金)に終値があるときは、2020年8月28日(金)の終値)に0.90~1.00を乗じた価格(1円未満端数切捨て)を仮条件として、需要状況等を勘案したうえで、発行価格等決定日に決定する。

(5) 発行価格
(募集価格)の総額

未定

(6) 募集方法

国内及び海外における同時募集とする。

① 国内一般募集

国内における募集(以下「国内一般募集」という。)は一般募集とし、野村証券株式会社、みずほ証券株式会社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社及びSMBC日興証券株式会社を共同幹事会社とする国内引受会社(以下「国内引受会社」と総称する。)に国内一般募集分の全投資口を買取引受けさせる。

② 海外募集

海外における募集(以下「海外募集」という。)は米国、欧州及びアジアを中心とする海外市場(但し、米国においては1933年米国証券法に基づくルール144Aに従った適格機関投資家に対する販売に限る。)における募集とし、Nomura International plc、Morgan Stanley & Co. International plc、Mizuho International plc及びSMBC Nikko Capital Markets Limited(国内引受会社と併せて以下「引受人」と総称する。)に海外募集分の全投資口を総額個別買取引受けさせる。

なお、上記①及び②の各募集に係る投資口数については、国内一般募集151,904口及び海外募集110,000口を目処に募集を行うが、その最終的な内訳は、需要状況等を勘案したうえで発行価格等決定日に決定する。国内一般募集、海外募集及び下記2.に記載のオーバーアロットメントによる売出し(以下「オーバーアロットメントによる売出し」という。)のジョイント・グローバル・コーディネーターは、野村証券株式会社、みずほ証券株式会社及びMorgan Stanley & Co. International plc(以下「ジョイント・グローバル・コーディネーター」と総称する。)とする。

(7) 引受契約の内容

引受人は、下記(10)に記載の払込期日に国内一般募集及び海外募集における払込金額(発行価額)の総額と同額を本投資法人に払込み、発行価格(募集価格)の総額との差額は、引受人の手取金とする。本投資法人は、引受人に対して引受手数料を支払わない。

(8) 申込単位

1口以上1口単位

(9) 申込期間
(国内一般募集)

発行価格等決定日の翌営業日から発行価格等決定日の2営業日後の日まで

(10) 払込期日

2020年9月1日(火)から2020年9月4日(金)までの間のいずれかの日。但し、発行価格等決定日が、2020年8月25日(火)又は2020年8月26日(水)の場合には2020年9月1日(火)、2020年8月27日(木)の場合には2020年9月2日(水)、2020年8月28日(金)の場合には2020年9月3日(木)、2020年8月31日(月)の場合には2020年9月4日(金)とする。

ご注意：本報道発表文は、本投資法人の新投資口発行及び投資口売出しに関して一般に公表するための文書であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず本投資法人が作成する新投資口発行及び投資口売出届出目論見書並びにその訂正事項分(作成された場合)をご覧いただいたうえで、投資家ご自身の責任と判断なさるようお願いいたします。

また、本報道発表文は、米国における証券の募集を構成するものではありません。1933年米国証券法に基づいて証券の登録を行うか又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の募集又は販売を行うことは出来ません。米国において証券の公募が行われる場合には、1933年米国証券法に基づいて作成される英文のプロスペクタスが用いられます。プロスペクタスは、当該証券の発行法人又は売出人より入手することができますが、これには発行法人及びその経営陣に関する詳細な情報並びにその財務諸表が記載されます。なお、本件においては米国における証券の公募は行われません。

- (11) 受 渡 期 日 上記(10)に記載の払込期日の翌営業日とする。
- (12) 発行価格（募集価格）、払込金額（発行価額）、その他この新投資口発行に必要な事項は、今後開催する本投資法人役員会において決定する。
- (13) 上記各号のうち国内一般募集に係る事項については、金融商品取引法による届出の効力発生を条件とする。

2. 投資口売出し（オーバーアロットメントによる売出し）（下記<ご参考>1. をご参照ください。）

- (1) 売 出 投 資 口 数 13,096 口
 なお、上記売出投資口数は、国内一般募集に当たり、その需要状況等を勘案したうえで、国内一般募集の事務主幹事会社である野村証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる売出しの売出投資口数の上限を示したものである。国内一般募集の需要状況等により減少し、又はオーバーアロットメントによる売出しそのものが全く行われぬ場合がある。売出投資口数は、国内一般募集の需要状況等を勘案したうえで、発行価格等決定日に開催する本投資法人役員会において決定する。
- (2) 売 出 人 野村証券株式会社
- (3) 売 出 価 格 未定
 発行価格等決定日に決定する。なお、売出価格は、国内一般募集における発行価格（募集価格）と同一とする。
- (4) 売 出 価 額 の 総 額 未定
- (5) 売 出 方 法 国内一般募集に当たり、その需要状況等を勘案したうえで、国内一般募集の事務主幹事会社である野村証券株式会社が自己又はその関係会社を通じて本投資法人の投資主から 13,096 口を上限として借り入れる本投資口の日本国内における売出しを行う。
- (6) 申 込 単 位 1 口以上 1 口単位
- (7) 申 込 期 間 国内一般募集における申込期間と同一とする。
- (8) 受 渡 期 日 国内一般募集における受渡期日と同一とする。
- (9) 売出価格、その他この投資口の売出しに必要な事項は、今後開催する本投資法人役員会において決定する。
- (10) 上記各号については、金融商品取引法による届出の効力発生を条件とする。

3. 第三者割当による新投資口発行（下記<ご参考>1. をご参照ください。）

- (1) 募 集 投 資 口 数 13,096 口
- (2) 払 込 金 額 未定
 （ 発 行 価 額 ） 発行価格等決定日に開催する本投資法人役員会において決定する。なお、払込金額（発行価額）は国内一般募集における払込金額（発行価額）と同一とする。
- (3) 払 込 金 額 未定
 （ 発 行 価 額 ） の 総 額
- (4) 割 当 先 野村証券株式会社
- (5) 申 込 単 位 1 口以上 1 口単位
- (6) 申 込 期 間 2020 年 9 月 28 日(月)
 （ 申 込 期 日 ）
- (7) 払 込 期 日 2020 年 9 月 29 日(火)

ご注意：本報道発表文は、本投資法人の新投資口発行及び投資口売出しに関して一般に公表するための文書であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず本投資法人が作成する新投資口発行及び投資口売出届出目論見書並びにその訂正事項分（作成された場合）をご覧いただいたうえで、投資家ご自身の責任と判断でなさるようお願いいたします。

また、本報道発表文は、米国における証券の募集を構成するものではありません。1933 年米国証券法に基づいて証券の登録を行うか又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の募集又は販売を行うことは出来ません。米国において証券の公募が行われる場合には、1933 年米国証券法に基づいて作成される英文のプロスペクタスが用いられます。プロスペクタスは、当該証券の発行法人又は売出人より入手することができますが、これには発行法人及びその経営陣に関する詳細な情報並びにその財務諸表が記載されます。なお、本件においては米国における証券の公募は行われません。

- (8) 上記(6)に記載の申込期間（申込期日）までに申込みのない投資口については、発行を打ち切るものとする。
- (9) 払込金額（発行価額）、その他この新投資口発行に必要な事項は、今後開催する本投資法人役員会において決定する。
- (10) 上記各号については、金融商品取引法による届出の効力発生を条件とする。

<ご参考>

1. オーバーアロットメントによる売出し等について

オーバーアロットメントによる売出しは、国内一般募集にあたり、その需要状況等を勘案したうえで、国内一般募集の事務主幹事会社である野村証券株式会社が自己又はその関係会社を通じて本投資法人の投資主から 13,096 口を上限として借り入れる本投資口の日本国内における売出しです。オーバーアロットメントによる売出しの売出投資口数は、13,096 口を予定していますが、当該売出投資口数は上限の売出投資口数であり、需要状況等により減少し、又はオーバーアロットメントによる売出しそのものが全く行われな場合があります。

なお、オーバーアロットメントによる売出しに関連して、野村証券株式会社が自己又はその関係会社を通じて本投資法人の投資主から借り入れた本投資口（以下「借入投資口」といいます。）の返還に必要な本投資口を野村証券株式会社に取得させるために、本投資法人は、2020年8月17日(月)開催の本投資法人役員会において、野村証券株式会社を割当先とする本投資口13,096口の第三者割当による新投資口発行（以下「本件第三者割当」といいます。）を、2020年9月29日(火)を払込期日として行うことを決議しています。

また、野村証券株式会社は、国内一般募集及びオーバーアロットメントによる売出しの申込期間の終了する日の翌日から2020年9月23日(水)までの間（以下「シンジケートカバー取引期間」といいます。）、借入投資口の返還を目的として、株式会社東京証券取引所においてオーバーアロットメントによる売出しに係る口数を上限とする本投資口の買付け（以下「シンジケートカバー取引」といいます。）を行う場合があります。野村証券株式会社がシンジケートカバー取引により取得した全ての本投資口は、借入投資口の返還に充当されます。なお、シンジケートカバー取引期間内において、野村証券株式会社の判断でシンジケートカバー取引を全く行わず、又はオーバーアロットメントによる売出しに係る口数に至らない口数でシンジケートカバー取引を終了させる場合があります。

さらに、野村証券株式会社は、国内一般募集及びオーバーアロットメントによる売出しに伴って安定操作取引を行うことがあり、かかる安定操作取引により取得した本投資口の全部又は一部を借入投資口の返還に充当することがあります。

オーバーアロットメントによる売出しに係る口数から、安定操作取引及びシンジケートカバー取引によって取得し借入投資口の返還に充当する口数を減じた口数について、野村証券株式会社は本件第三者割当に係る割当てに応じ、本投資口を取得する予定です。そのため本件第三者割当における発行投資口数の全部又は一部につき申込みが行われず、その結果、失権により本件第三者割当における最終的な発行投資口数とその限度で減少し、又は発行そのものが全く行われな場合があります。

上記の取引に関して、野村証券株式会社は、みずほ証券株式会社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社及びSMB C日興証券株式会社と協議のうえ、これを行います。

ご注意：本報道発表文は、本投資法人の新投資口発行及び投資口売出しに関して一般に公表するための文書であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず本投資法人が作成する新投資口発行及び投資口売出届出目論見書並びにその訂正事項分（作成された場合）をご覧いただくうえで、投資家ご自身の責任と判断でなさるようお願いいたします。

また、本報道発表文は、米国における証券の募集を構成するものではありません。1933年米国証券法に基づいて証券の登録を行うか又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の募集又は販売を行うことは出来ません。米国において証券の公募が行われる場合には、1933年米国証券法に基づいて作成される英文のプロスペクタスが用いられます。プロスペクタスは、当該証券の発行法人又は売出人より入手することができますが、これには発行法人及びその経営陣に関する詳細な情報並びにその財務諸表が記載されます。なお、本件においては米国における証券の公募は行われません。

2. 今回の新投資口発行による発行済投資口の総口数の推移

現在の発行済投資口の総口数	1,363,000 口
公募による新投資口発行に伴う増加投資口数	261,904 口
公募による新投資口発行後の発行済投資口の総口数	1,624,904 口
本件第三者割当に伴う増加投資口数	13,096 口 (注)
本件第三者割当後の発行済投資口の総口数	1,638,000 口 (注)

(注) 本件第三者割当における発行投資口数の全口数について野村証券株式会社から申込みがあり、発行が行われた場合の口数を記載しています。

3. 発行の目的及び理由

本投資法人は、新投資口の発行による資金調達により、本投資法人の投資方針に適合する中長期に安定した収益の見込める資産及び将来的なアップサイドを期待できる資産を取得することで、資産規模の拡大及びポートフォリオの強化並びに発行済投資口の総口数の増加等を通じた時価総額の拡大による投資口価格の更なる安定化及び投資口の流動性の向上が図れるほか、取得余力の向上及び1口当たり分配金の持続的成長等を総合的に勘案した結果、新投資口の発行を決定したものです。

4. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額 (差引手取概算額)

45,331,550,000 円 (上限)

(注) 国内一般募集における手取金 25,040,159,168 円、海外募集における手取金 18,132,620,000 円及び本件第三者割当の手取金上限 2,158,770,832 円を合計した金額を記載しています。また、上記金額は2020年7月17日(金)現在の株式会社東京証券取引所における本投資口の普通取引の終値を基準として算出した見込額です。

(2) 調達する資金の具体的な使途及び支出予定時期

国内一般募集及び海外募集における手取金については、本日付で公表の「国内不動産信託受益権の取得及び貸借並びに譲渡に関するお知らせ」に記載の取得予定資産の取得資金の一部に充当します。また、本件第三者割当による新投資口発行の手取金上限については、将来の特定資産(投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項における意味を有します。)の取得資金又は借入金の返済に充当します。

5. 配分先の指定

該当事項はありません。

6. 今後の見通し

本日付で公表の「2021年2月期の運用状況及び分配金の予想の修正並びに2021年8月期の運用状況及び分配金の予想に関するお知らせ」をご参照ください。

ご注意：本報道発表文は、本投資法人の新投資口発行及び投資口売出しに関して一般に公表するための文書であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず本投資法人が作成する新投資口発行及び投資口売出届出目論見書並びにその訂正事項分(作成された場合)をご覧いただいたうえで、投資家ご自身の責任と判断でなさるようお願いいたします。

また、本報道発表文は、米国における証券の募集を構成するものではありません。1933年米国証券法に基づいて証券の登録を行うか又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の募集又は販売を行うことは出来ません。米国において証券の公募が行われる場合には、1933年米国証券法に基づいて作成される英文のプロスペクタスが用いられます。プロスペクタスは、当該証券の発行法人又は売出人より入手することができますが、これには発行法人及びその経営陣に関する詳細な情報並びにその財務諸表が記載されます。なお、本件においては米国における証券の公募は行われません。

7. 最近3営業期間の運用状況及びエクイティ・ファイナンスの状況等

(1) 最近3営業期間の運用状況

	2019年2月期	2019年8月期	2020年2月期
1口当たり当期純利益(注1)	2,530円	3,201円	3,531円
1口当たり分配金	2,717円	3,200円	3,670円
(うち1口当たり利益分配金)	(2,530円)	(3,048円)	(3,492円)
(うち1口当たり利益超過分配金)	(187円)	(152円)	(178円)
実績配当性向(注2)	100.0%	100.0%	100.0%
1口当たり純資産	98,355円	100,640円	106,046円

(注1) 1口当たり当期純利益は、当期純利益を日数による加重平均投資口数で除することにより算定しています。

(注2) 実績配当性向については、以下の算定式より算出しています(小数第2位を四捨五入して記載しています。)

$$1口当たり分配金(利益超過分配金を含まない) \div 1口当たり当期純利益 \times 100$$

なお、2019年8月期及び2020年2月期の実績配当性向については、期中に公募増資を行ったことにより、期中の投資口数に変動が生じているため、次の算式により算出しています(小数第2位を四捨五入して記載しています。)

$$実績配当性向 = 分配金総額(利益超過分配金は含まない) \div 当期純利益 \times 100$$

(2) 最近の投資口価格の状況

① 最近3営業期間の状況

	2019年2月期	2019年8月期	2020年2月期
始値	103,100円	106,200円	144,400円
高値	110,200円	147,600円	184,200円
安値	99,600円	104,200円	141,800円
終値	105,700円	145,400円	158,000円

② 最近6ヶ月間の状況

	2020年 3月	4月	5月	6月	7月	8月
始値	155,200円	144,800円	151,300円	158,000円	167,100円	194,400円
高値	165,700円	157,600円	163,000円	171,500円	192,800円	195,000円
安値	91,300円	126,700円	147,700円	149,800円	164,600円	178,600円
終値	145,800円	151,700円	160,700円	166,200円	192,700円	183,000円

(注)2020年8月の投資口価格については、2020年8月14日現在の数値を記載しています。

③ 発行決議日の前営業日における投資口価格

	2020年8月14日
始値	181,600円
高値	184,000円
安値	179,000円
終値	183,000円

ご注意：本報道発表文は、本投資法人の新投資口発行及び投資口売出しに関して一般に公表するための文書であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず本投資法人が作成する新投資口発行及び投資口売出届出目論見書並びにその訂正事項分(作成された場合)をご覧いただいたうえで、投資家ご自身の責任と判断でなさるようお願いいたします。

また、本報道発表文は、米国における証券の募集を構成するものではありません。1933年米国証券法に基づいて証券の登録を行うか又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の募集又は販売を行うことは出来ません。米国において証券の公募が行われる場合には、1933年米国証券法に基づいて作成される英文のプロスペクタスが用いられます。プロスペクタスは、当該証券の発行法人又は売出人より入手することができますが、これには発行法人及びその経営陣に関する詳細な情報並びにその財務諸表が記載されます。なお、本件においては米国における証券の公募は行われません。

(3) 最近3営業期間のエクイティ・ファイナンスの状況

・公募増資

発行期日	2019年6月5日
調達資金の額	12,271,808,301円
払込金額（発行価額）	117,141円
募集時における発行済投資口の総口数	1,100,000口
当該募集による発行投資口数	104,761口
募集後における発行済投資口の総口数	1,204,761口
発行時における当初の資金使途	取得予定資産の取得資金の一部に充当
発行時における支出予定時期	2019年6月以降
現時点における充当状況	上記支出予定時期に全額を充当済み

・第三者割当増資

発行期日	2019年6月28日
調達資金の額	613,701,699円
払込金額（発行価額）	117,141円
募集時における発行済投資口の総口数	1,204,761口
当該募集による発行投資口数	5,239口
募集後における発行済投資口の総口数	1,210,000口
割当先	野村證券株式会社
発行時における当初の資金使途	将来の特定資産の取得資金又は借入金の返済に充当
発行時における支出予定時期	2019年6月以降
現時点における充当状況	上記支出予定時期に全額を充当済み

・公募増資

発行期日	2019年9月18日
調達資金の額	20,836,373,430円
払込金額（発行価額）	142,995円
募集時における発行済投資口の総口数	1,210,000口
当該募集による発行投資口数	145,714口
募集後における発行済投資口の総口数	1,355,714口
発行時における当初の資金使途	取得予定資産の取得資金の一部に充当
発行時における支出予定時期	2019年9月以降
現時点における充当状況	上記支出予定時期に全額を充当済み

ご注意：本報道発表文は、本投資法人の新投資口発行及び投資口売出しに関して一般に公表するための文書であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず本投資法人が作成する新投資口発行及び投資口売出届出目論見書並びにその訂正事項分（作成された場合）をご覧いただくうえで、投資家ご自身の責任と判断でなさるようお願いいたします。

また、本報道発表文は、米国における証券の募集を構成するものではありません。1933年米国証券法に基づいて証券の登録を行うか又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の募集又は販売を行うことは出来ません。米国において証券の公募が行われる場合には、1933年米国証券法に基づいて作成される英文のプロスペクタスが用いられます。プロスペクタスは、当該証券の発行法人又は売出人より入手することができますが、これには発行法人及びその経営陣に関する詳細な情報並びにその財務諸表が記載されます。なお、本件においては米国における証券の公募は行われません。

・第三者割当増資

発行期日	2019年10月10日
調達資金の額	1,041,861,570円
払込金額（発行価額）	142,995円
募集時における発行済投資口の総口数	1,355,714口
当該募集による発行投資口数	7,286口
募集後における発行済投資口の総口数	1,363,000口
割当先	野村證券株式会社
発行時における当初の資金使途	将来の特定資産の取得資金又は借入金の返済に充当
発行時における支出予定時期	2019年10月以降
現時点における充当状況	上記支出予定時期に全額を充当済み

8. ロックアップについて

(1) 国内一般募集及び海外募集に関連して、Jones Lang LaSalle Co-Investment, Inc. 及びラサール不動産投資顧問株式会社は、ジョイント・グローバル・コーディネーターに対し、発行価格等決定日に始まり、当該募集の受渡期日から起算して180日目の日に終了する期間中、ジョイント・グローバル・コーディネーターの事前の書面による同意なしには、本投資口の売却等（但し、オーバーアロットメントによる売出しに伴う本投資口の貸渡し等を除きます。）を行わない旨を合意しています。

ジョイント・グローバル・コーディネーターは、上記の期間中であってもその裁量で、当該合意の内容を一部又は全部につき解除できる権限を有しています。

(2) 国内一般募集及び海外募集に関連して、本投資法人は、ジョイント・グローバル・コーディネーターに対し、発行価格等決定日に始まり、当該募集の受渡期日から起算して90日目の日に終了する期間中、ジョイント・グローバル・コーディネーターの事前の書面による同意なしには、本投資口の発行等（但し、国内一般募集、海外募集、本件第三者割当及び投資口の分割に伴う新投資口発行等を除きます。）を行わない旨を合意しています。

ジョイント・グローバル・コーディネーターは、上記の期間中であってもその裁量で、当該合意の内容を一部又は全部につき解除できる権限を有しています。

以上

*本投資法人のホームページアドレス：<http://lasalle-logiport.com/>

ご注意：本報道発表文は、本投資法人の新投資口発行及び投資口売出しに関して一般に公表するための文書であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず本投資法人が作成する新投資口発行及び投資口売出届出目論見書並びにその訂正事項分（作成された場合）をご覧頂いたうえで、投資家ご自身の責任と判断でなさるようお願いいたします。

また、本報道発表文は、米国における証券の募集を構成するものではありません。1933年米国証券法に基づいて証券の登録を行うか又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の募集又は販売を行うことは出来ません。米国において証券の公募が行われる場合には、1933年米国証券法に基づいて作成される英文のプロスペクタスが用いられます。プロスペクタスは、当該証券の発行法人又は売出人より入手することができますが、これには発行法人及びその経営陣に関する詳細な情報並びにその財務諸表が記載されます。なお、本件においては米国における証券の公募は行われません。